

表紙

(仮称) 北九州市立図書館基本計画  
(素案)

令和 X年 X月

北九州市教育委員会

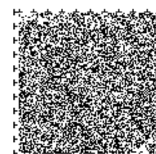
みぎ 右のマークは おんせい 音声コード

「Uni-Voice」です。

せんよう 専用アプリなどで よと 読み取

ると、ないよう 内容を おんせい 音声で き 聞く

ことができます。



## はじめに

少子高齢化やデジタル技術の急速な進展、地域コミュニティの希薄化などの社会情勢が大きく変化しているなか、図書館に求められる役割も大きく変化しています。

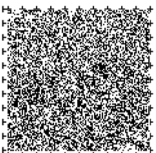
こうしたなか、令和6年5月に北九州市立図書館協議会から「これからの図書館のあり方について（答申）」をいただきました。また、市や教育委員会の新しい方針である「北九州市基本構想・基本計画」や「北九州市こどもまんなか教育プラン」が時期を同じくして策定されました。これらを踏まえ、社会変化や市民のニーズに対応し、より多くの市民に利用していただける図書館となるよう、このたび、北九州市立図書館が主体となり、初めての「北九州市立図書館基本計画」を策定いたしました。

本市では、社会教育施設としての図書館の基本機能（読む・調べる・学ぶ等）についてはこれからも大切にしながら、さらに、多くの市民が様々な目的で気軽に立ち寄れ、地域の人々のつながりやかかわりを創り出す交流拠点として、図書館の役割を拡大していくことを目指していきます。

より多くの市民が心豊かなときを創造するためのお手伝いができるよう、北九州市立図書館は、本計画を指針として一層のサービス向上に努めてまいります。

令和X年X月

北九州市教育委員会



# 目 次

第1章 基本計画の策定に当たって .....	4 ページ
1 基本計画策定の趣旨 .....	4 ページ
2 位置づけ .....	4 ページ
3 目標年次 .....	4 ページ
第2章 目指す姿と基本目標 .....	5 ページ
1 北九州市立図書館が目指す姿 .....	5 ページ
2 基本目標 .....	6 ページ
3 基本計画の概要 .....	7 ページ
第3章。取組の方針と主な取組 .....	8 ページ
基本目標1 学びを支え、豊かなときを創造する図書館 .....	8 ページ
基本目標2 誰もが利用しやすく、やすらげる図書館 .....	10 ページ
基本目標3 多様な主体とつながり、共に成長する図書館 .....	12 ページ
基本目標4 未来につなぐ図書館 .....	13 ページ
第4章。計画の推進に向けて .....	15 ページ
1 進行管理及び評価の実施 .....	15 ページ
2 成果指標 .....	16 ページ
資料編 .....	17 ページ
1 法令上の位置づけ .....	17 ページ
2 図書館を取り巻く状況 .....	17 ページ
3 北九州市立図書館について .....	20 ページ
4 参考にした調査結果等 .....	20 ページ
5 北九州市立図書館協議会 .....	25 ページ
6 策定の経過 .....	26 ページ
7 参考文献 .....	26 ページ



# 第1章 基本計画の策定に当たって

## 1 基本計画策定の趣旨

北九州市立図書館では、平成14年以降、付属機関である北九州市立図書館協議会から、図書館のあり方についての答申を受け、これを指針として図書館運営を行ってきました。

一方、図書館法が平成20年に改正され、これを踏まえた平成24年の「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」で、図書館の基本的運営方針の策定及び公表などが規定されました。

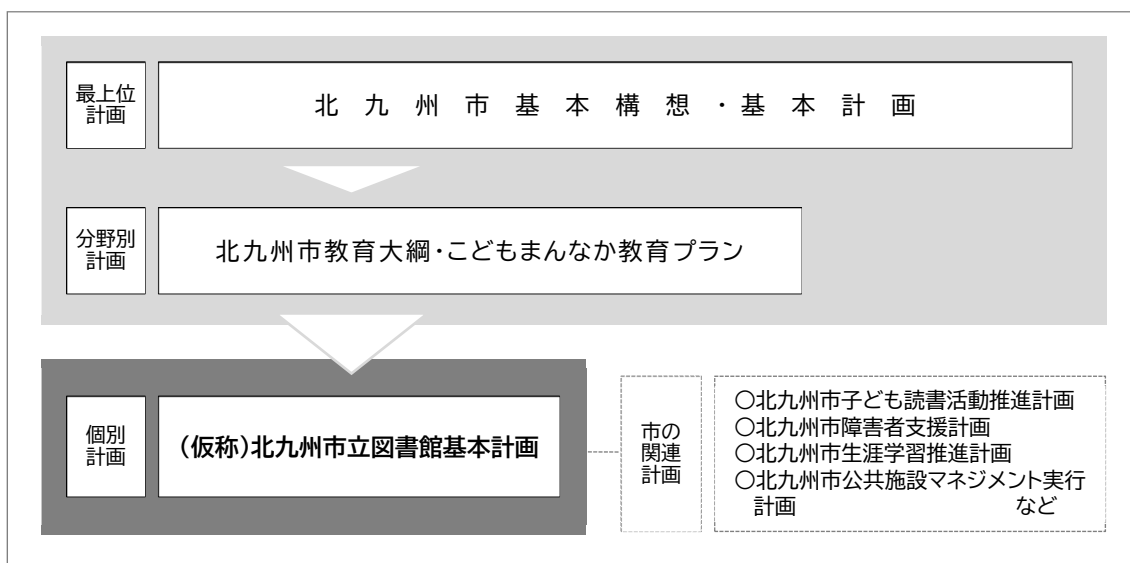
また、今日(こんにち)の少子高齢化、デジタル技術の進展、地域コミュニティの希薄化などの社会情勢の変化を受けて、図書館にも新たな対応が求められています。

以上から、北九州市立図書館協議会からの「これからの図書館のあり方について」の令和6年答申を踏まえ、今回、新たに本計画を策定することとしました。

## 2 位置づけ

本計画は、「北九州市基本構想・基本計画」の分野別計画である「北九州市こどもまんなか教育プラン」の個別計画として位置づけます。

また、「第4次北九州市子ども読書活動推進計画(北九州市子ども読書プラン)」、「北九州市障害者支援計画」など、関連計画との連携、整合性を図ることとします。



## 3 目標年次

本計画の目標年次は、北九州市基本構想・基本計画に合わせ、令和22年とし、社会状況の変化等を踏まえて概ね5年ごとに見直しを行うものとしします。

